



広報

つがる

2005

7.15

No.11

●市の人口と世帯数（平成17年7月1日現在） 人口 40,151人（男 19,286人 / 女 20,865人） 世帯数 13,106世帯



サクランボ狩りに園児らが大喜び

6月29日、稲垣観光サクランボ園で保育園児ら約40人がサクランボ狩りを楽しみました。

これはサクランボ園経営の尾崎武彦さんが園オープンの日毎年園児たちを招待しているもので、稲垣地区にある繁田保育所、千年保育所、いなほ保育所の年長の園児たちが訪れました。

園児たちは真っ赤に色づいたサクランボを丁寧に採り、おいしそうに食べていました。

主な内容

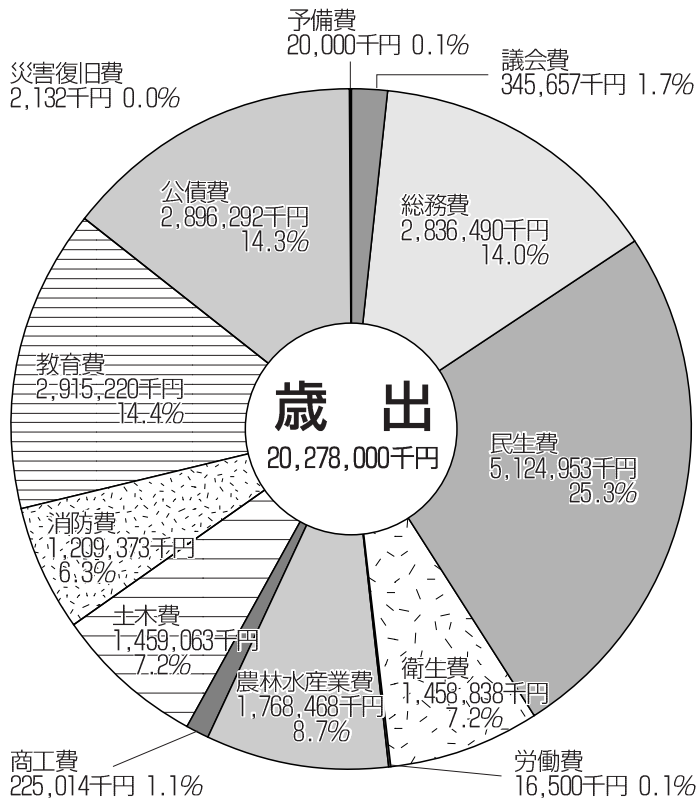
平成17年度 一般会計予算	2～3
新年度の事業紹介	4～5
つがる市消防団観閲式	6
白老町と姉妹都市交流を確認 つがる市老人クラブを結成 交通死亡事故をなくそう	
メロンロードとネーミング	7
つがる市課・係の主な業務内容と職員紹介	8
ウォーキングの集い 健康推進課だより	9
街の話題	10～11
特別生涯給付金制度が創設 プールを開放します	12

平成17年度 一般会計予算

202億7,800万円

五つの約束を基本に編成

つがる市となつて、初めての年間予算であり、つがる市建設計画の基本理念「新田の歴史が彩る 日本のふるさと」と五つの約束①全国的ブランド「つがる」への取り組み②農業振興への取り組み③ひとづくりへの取り組み④安心・快適・便利な地域社会への取り組み⑤健全な行財政運営への取り組みを念頭に置いての予算編成になりました。

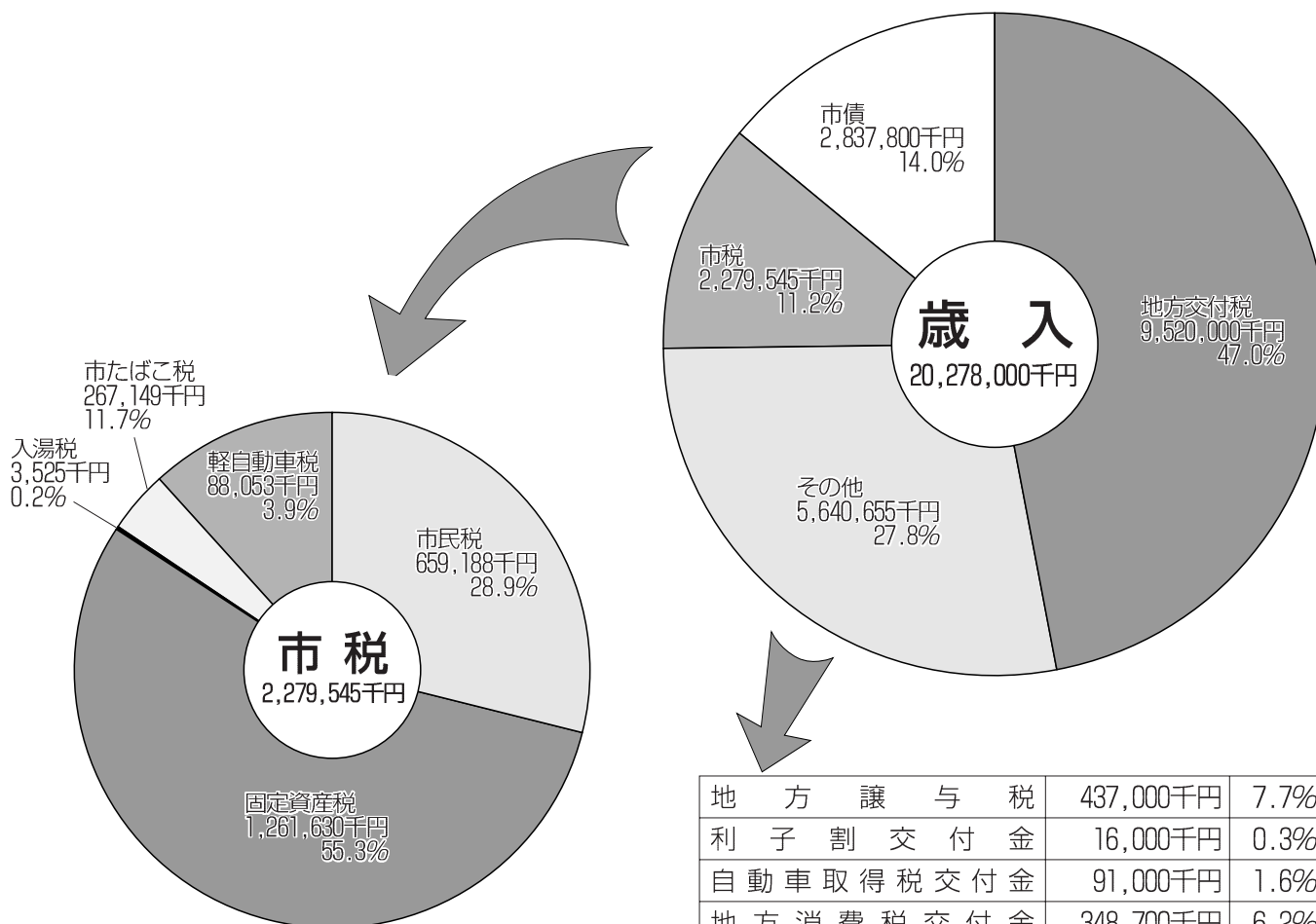


●当初予算は対前年比6.6%増となる

5町村の合併により新しい「市」としてスタートすることとなったものの、もともと財政基盤の脆弱なことに変わりはなく、厳しい財政状況の下で、新しい施策を取り込みながら、市民生活向上のために、そしてつがる市民として誇りが持てる新しいまちづくりのために、最小の経費で最大の効果を生み出す予算となるよう努めた結果、平成17年度予算総額は202億7,800万円となり、合併5町村の平成16年度当初予算を合算した額との比較では、12億5,166億9千円、6.6%の増となりました。

主な歳入については、旧5町村の徴収実績並びに本市の経済動向等を踏まえ、市税が22億7,954万5千円となり、地方交付税は、国の算定方針を基礎に、旧五町村の交付税実績等を勘案して、普通交付税の交付見込額を推計した上で83億円となりました。特別交付税では12億2千万円を計上しており、地方債については、臨時財政対策債ほか、旧5町村から引き継いだ実施事業分を合わせ、28億3,780万円となりました。

市民として誇りが持てる 新しいまちづくり



特別会計

() は前年比

土地取得特別会計	10,882千円(0.2%)
農業集落排水事業特別会計	907,290千円(△18.8%)
公共下水道事業特別会計	1,011,339千円(△14.9%)
国民健康保険特別会計	4,955,813千円(△ 2.6%)
老人保健特別会計	3,562,245千円(△ 1.6%)
介護保険特別会計	3,144,538千円(31.3%)
宅地造成事業特別会計	24,620千円(△90.2%)
国民健康保険病院事業会計	1,945,690千円(△ 1.3%)

※前年度比は、旧5町村における16年度予算額の合算額との比較。

地方譲与税	437,000千円	7.7%
利子割交付金	16,000千円	0.3%
自動車取得税交付金	91,000千円	1.6%
地方消費税交付金	348,700千円	6.2%
地方特例交付金	55,000千円	1.0%
交通安全対策特別交付金	5,825千円	0.1%
分担金及び負担金	162,377千円	2.9%
使用料及び手数料	487,991千円	8.7%
国庫支出金	2,292,520千円	40.7%
県支出金	816,226千円	14.4%
財産収入	13,633千円	0.2%
寄附金	7,511千円	0.1%
繰入金	165,601千円	2.9%
繰越金	150,000千円	2.7%
諸収入	564,937千円	10.0%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	26,332千円	0.5%
配当割交付金	1千円	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	1千円	0.0%
計	5,640,655千円	100%

新年度事業紹介

つがる市の平成17年度の予算が決まり、各事業が一斉にスタートしました。

市民として誇りが持てる新しいまちづくりが始まります。今年度の事業の主なものを紹介します。



まもなく完成する稲垣中学校校舎



今年閉鎖される柏最終処分場

①全国的ブランド「つがる」への取り組み

【経済部】

- ◎つがる市農産物ブランド化推進会議補助金 ・ 八百四十二万八千円
つがる市農産物ブランド化推進会議を設立し、同推進会議が行う事業に対する補助。事業年数は平成十七～二十一年度までの五ヶ年。消費者に信頼されるつがる市の農産物を提供することにより、他産地農産物と比較して有利な地位を築き、有利販売を実現し、農家の所得向上、生産、販売意欲の向上、後継者の確保、農村地域の活性化、魅力ある地域づくりへと結びつけます。
- ◎競争力強化生産総合対策事業 …………… 一億七百二十五万円
つがる農業協同組合が森田、柏地区に導入するりんご選果機に対する補助。つがる市ブランドの品質の良いりんごの出荷が可能となりその効果が期待されます。事業費の内訳は、国庫補助金が五十％で、市が二十五％の補助。

【教育委員会】

- ◎石神遺跡出土品保存修理委託事業 …………… 四百三十万五千元
石神遺跡出土品の国重要文化財のうち傷みの激しい土器や貸し出し要望の多い土器を専門業者に委託して、文化財の保護、活用役に役立ちます。
- ◎埋蔵文化財発掘事業 …………… 二千六百九十八万二千元
石神遺跡、牛潟（２）遺跡、筒木坂屏風山遺跡発掘調査費用。

②農業振興への取り組み

【経済部】

- ◎土づくり対策事業 …………… 千五十万円
売れる米作り、転作作物である小麦の本格的な作付、収穫を図り、有機農業拡大のため稲垣農業開発公社が行う堆肥製造、運搬に対する補助。
- ◎県営農業基盤整備事業 …………… 二億六千五百四万円
- ◎地域水産物供給基盤整備事業 …………… 一億円
平成十五～十八年度までの四ヶ年事業。車力漁港西防波堤六十一mを整備。消波ブロック据付工事。

③ひとびとへの取り組み

【財政部】

- ◎姉妹都市交流・バス市推進費 …………… 五百四十九万四千元
（仮称）姉妹都市交流協会設立や北海道白老町・千葉県柏市・アメリカ合衆国メイン州バス市との交流に係る経費。

【教育委員会】

- ◎教育委員会への指導課準備室の設置事業 …… 四千七百三万六千元
市政施行により指導課を設置するが今後指導主事の増員を図り、学校経営を充実します。
- ◎統合小学校建設事業 …………… 七億三千三百八十三万四千元
本造地区九小学校の統合小学校建設事業。
- ◎統合小学校開校準備費 …………… 千一萬六千元
平成十八年四月開校予定の統合小学校に係る準備経費。
- ◎稲垣中学校建設事業 …………… 五億二千八百八十二万二千元
稲垣中学校校舎建設事業で本年九月末完成を予定しています。
- ◎スポーツ振興助成事業 …………… 千二十三万七千元
小中児童生徒スポーツ大会参加補助、つがる市体育協会補助金、県民駅伝競走大会参加者ユニフォーム補助、県民体育大会参加者派遣・ユニフォーム補助、つがる市スポーツ少年団補助。

④安心・快適・便利な地域社会への取り組み

【総務部】

- ◎イオン柏出張所 …………… 四千二百八十三万七千元
五町村合併により新たにイオン柏ショッピングセンター内に設置した「すまいるプラザ」の管理運営費。
- 【民生部】
- ◎一般廃棄物最終処分場閉鎖事業 …………… 三千五百四十五万円
柏最終処分場が満杯になったことにより同処分場を閉鎖するものです。



富池地区富池2号団地

都市公園整備が進められる、
つがる地球村オートキャンプ場

柏地区浅井団地

【福祉部】

- ◎つがる市社会福祉協議会補助金 六百二十七万三千円
- ◎つがる市シルバー人材センター補助金 五百三十万円
- ◎老人クラブ補助金 六百四十八万八千円
- ◎下車力保健福祉館建設費 八千五百五十二万五千円
- ◎福祉事務所費 十一億九千六百四十六万八千円
- 市政施行により、新たに旧柏村役場内に設置された福祉事務所費。
- ◎出産祝金支給事業 六百万円
- 第三子以降の一子につき祝金二十万円を支給します。
- ◎保育所運営事業 三億八千八百四十八万三千円
- 延長保育事業委託、地域活動事業委託、障害児保育事業委託、私立保育所扶助費、公立保育所運営費
- ◎病院事業 一億一千万円
- ◎津軽広域水道企業団西北事業部負担金及び出資金 二億六千三百五十二万九千九百九十九円
- ◎各種検診委託 一億二千二百二十九万九千九百九十九円
- 基本健康診査、胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺がん検診、ヘモグロビンA1C・肝炎ウイルス・尿酸・尿中塩分・血液検査等の委託を行います。受診者の負担金を各種検診一項目五百円として受診率の向上を図ります。

【経済部】

- ◎つがる市商工会補助金 千二百万円
- ◎つがる市まつり協賛会に対する補助金 千九百五十万円
- 合併町村で実施されていたまつりを再編し、今年は森田地区のつがる地球村で花火大会（七月三十一日開催）、車力地区のチエスボローカップ水泳駅伝（八月七日開催）、木造地区の馬市まつり（九月一日前夜祭、二日～四日まで開催）、三新田まつり（七月二十二日～二十四日まで開催）を実施します。

【土木部】

- ◎合併処理浄化槽費 四百四十二万八千八百円
- 住宅の改築により合併浄化槽を設置する場合に補助します。
- 五人槽二基、七人槽十六基、十人槽二基を予定しています。
- ◎都市公園整備事業 四千八百十六万八千八百円
- 平成十四～十九年度までの六ヶ年事業。

つがる地球村オートキャンプ場の増設整備事業。

- ◎公営住宅等建設整備事業 六億四千六百五十一万二千円
- 森田地区つきみの団地用地取得造成、森田地区つきみの団地（十戸）、車力地区屏風山2号団地（二戸）、牛瀧団地（四戸）、富池2号団地（二戸）、柏地区かしわ・浅井団地（十六戸）
- ◎防雪柵整備事業 三千万円
- 蓮花田豊田線防雪柵工事 二百六十メートル
- ◎市道整備事業 一億七千七百五十万円
- 車力5号線改良舗装工事、下牛瀧6号線改良舗装工事、富池8号線改良舗装工事、市道新設改良工事
- ◎除雪対策費 三千六百三十五万九千九百九十九円

【消防本部】

- ◎消防ポンプ自動車購入事業 四千一百二十万八千円
- 森田分署に配置のポンプ車一台を購入します。
- ◎越水コミュニティ消防センター建設事業 五千四百七十五万五千円

⑤ 健全な行財政運営への取り組み

【議会】

- ◎議会広報の発行 二百三十八万八千八百円
- 年四回発行し、市内全世帯に配布します。

【総務部】

- ◎行政改革推進委員会の設置 六十九万九千九百九十九円
- 委員十名をもって組織し、市長の諮問に応じて、つがる市の行政改革の推進について必要な事項を調査、審議します。

【財政部】

- ◎つがる市総合計画策定費 八百八十七万七千七百七十七円
- 住民意向調査を行い、総合計画策定審議会を経て、つがる市の長期計画を策定します。
- ◎合併振興基金積立金 二億八千八百八十八万八千八百八十八円
- 合併特例債による新市の地域振興のための基金造成。

平成17年度定期観閲式

日頃の訓練を披露



柏第1保育所の幼年消防クラブ



視閲点検する観閲者(福島市長)

六月二十六日、平成十七年度つがる市消防団観閲式が、木造中学校グラウンドで行われました。観閲式は、消防団員が日ごろ行っている防火・防災訓練の成果を観閲者に披露し、服装・分列行進、機械器具点検などの審査を受けるものです。現在、つがる市消防団は五十七分団で、消防ポンプ車等七十

九台が配備され、一、四五〇名の団員が消火栓や消防ポンプの管理、そして消化訓練などを行いながら、まさかの災害時に備えています。

観閲は、同校グラウンドにポンプ車と団員が整列し、視閲点検、機械器具点検が開始され、続いて分列行進が行われました。式典では、殉職消防団員への

黙祷、表彰伝達並びに授与式が行われ、二一五名の団員が各表彰を受けました。消防庁長官章(永年勤続功労章)は、成田才助副団長(車力)、尾野武平分団長(稲垣)、神文敏分団長(柏)に三村県知事より伝達されました。その後、同会場で玉落競技が行われました。

柏消防団総合優勝

観閲式成績

総合優勝 柏消防団
第2位 稲垣消防団
第3位 木造消防団第3大隊

玉落競技

50馬力以下

優勝 木造第18分団第2部 (あざみ岡)
第2位 柏 第4分団 (下古川)
第3位 木造第6分団第1部 (出 崎)

51馬力以上85馬力以下

優勝 木造第20分団第3部 (吉 見)
第2位 稲垣第4分団第1部 (繁 田)
第3位 森田第1分団 (上相野)

86馬力以上

優勝 木造第15分団第1部 (柴 田)
第2位 車力第5分団 (豊 富)
第3位 稲垣第2分団第1部 (出 崎)



玉 落 競 技



白老町と姉妹都市交流を確認

7月6日、福島市長が鮎谷白老町長（写真左）を表敬訪問しました。

旧森田村は平成3年から白老町と姉妹都市交流を続けてきており、交流継続の方針が確認されたことから、姉妹都市交流の促進に向け訪問したもので、福島市長は「人的な交流を大切にしたい」と語り、鮎谷町長も「市民、町民レベルの交流を期待している」と話し、今後の交流を確認しました。姉妹都市提携の調印式は、31日に森田町で行われます。

運転者にマスコットを配布

七月四日、稲垣町繁田で稲垣保育所園児らが、マスコットを運転者に渡し、安全運転を呼びかけました。

園児たちは「安全運転をお願いします」と元気に声をかけて、ドライバークラスに金魚のマスコットを手渡していました。受取ったドライバークラスは「ありがとう」と言って、さっそく飾り、改めて安全運転を誓っていました。



交通死亡事故をなくそう

つがる市老人クラブを結成



つがる市誕生により、旧五町村の老人クラブ連合会が合併し、つがる市老人クラブ連合会が設立され、六月八日、設立総会が行われました。総会では、市長が「地域福祉の担い手として、幅広く活躍されることを期待します」と祝辞を述べました。その後初代連合会々長に、山谷久八郎（旧木造老人クラブ連合会会長）氏が選ばれ、今年度の活動計画などが議決されました。つがる市の老人クラブは一〇六クラブ五、一四一名の会員になります。

木造屏風山線を

メロンロードとネーミング

鯉ヶ沢町の国道101号線から富田町の航空自衛隊車庫分屯基地近くまで約二十二キロメートルの市道（木造屏風山線）を、メロンロードとネーミング、七月八日、観光案内板の除幕が行われました。

この沿道には、メロンやスイカ畑が広がり、特に、メロンは国内有数の生産地でありことから、市観光協会やJAつがる、

JA木造町がメロンロードと名付けました。

周辺にはベンセ湿原や平滝沼、出来島海水浴場、最終氷河期の埋没林などが点在し、観光客が多く訪れることから、関係者らは「今後、つがる市産のメロンとして全国に認知してもらい、消費拡大を図りたい」と話していました。



完成した観光案内板

つがる市課・係の主な業務内容と職員を紹介します

《議会事務局》 事務局長 工藤健造
 事務局次長 芹川豊
 総務係 (文書の収受、議員共済年金、予算等)
 係長 森畑明子
 議事係 (本会議、議事日程、議案、告示、会議録等)
 係長 山口淳志
 調査係 (市行政の調査、議員発案、請願陳情の受理等)
 係長 中田聖章

《教育委員会》 次長 半田修

教育総務課 課長 三上秀敏
 課長補佐 原田久、毛内裕之
 総務係 (人事、予算案、施設整備計画、奨学金支給事業等)
 係員 川村範子、福土寿幸
 学校教育係 (遠距離通学費補助、学級編成、修学旅行助成事業等)
 係員 野呂哲哉
 学校施設係 (学校の建設、学校教育施設の管理及び維持修繕、学校設備の整備、教員住宅の保守及び管理)
 係長 木村繁雄

スポーツ健康課 課長 佐々木富雄
 課長補佐 今岡慶三
 スポーツ振興係 (生涯スポーツ振興、体育施設の管理運営、体育施設整備計画等)
 係長 盛廣幸
 保健給食係 (学校給食、学校保健の調査・統計、児童生徒健康診断業務等)
 係長 蝦名紀子
 係員 安田満

生涯学習課 課長 宮本裕士
 課長補佐 三上みつる、成田信
 生涯学習係 (生涯学習の推進・調査研究、社会教育委員、松の館に関すること等)
 係長 渡辺一晋
 係員 山本正敏、齊藤優子
 社会教育係 (青少年健全育成、社会教育施設の維持管理、青少年対策等)
 係長 成田幸治
 派遣社会教育主事 外崎和弘

文化課 課長 尾野史郎
 課長補佐 對馬誠貴
 文化振興係 (文化・芸術の振興、伝統芸能等の保存育成、文化賞等)
 係員 木村晃

文化財保護係 (文化財保護審議会、埋蔵文化財の発掘調査、指定文化財保護等)
 学芸員 佐野忠史
 指導課準備室 室長 岩村静逸
 室長補佐 野呂金弘
 主任指導主事 西山淳一
 庶務係 (英語指導助手 (ALT)、国際教育理解事業 (国際交流) 等)
 係員 中野由起子
 指導係 (学校教育に関する専門事項の指導、就学指導、教育相談員等)
 室長補佐兼務

《農業委員会》 事務局長 松橋正春
 事務局次長 佐藤幸徳、森畑聡
 農地係 (農地等の利用関係の調整、農地基本台帳、農地等野諸証明)
 係長 工藤賢聖
 係員 佐々木雅規、台丸谷紀人
 農政係 (農業者年金、農業労働賃金、標準小作料)
 係長 渋谷正彦 係員 木村郁乃

《選挙管理委員会事務局》 事務局長 坂本定彦
 事務局次長 奈良陽一
 庶務係 (選挙の諸証明、明るい選挙推進協議会、選挙啓発等)
 係長 三上雅弘
 選挙係 (選挙関係の調査、選挙の執行管理、投票区・開票区の設定等)
 事務局次長兼務

《監査委員事務局》 事務局長 工藤育子
 (監査等の計画・実施、監査委員等)
 係長 秋田俊

《出張所》 所長 小山内誠
 市民課の業務 住民票、印鑑証明、戸籍証明、戸籍の附票
 税の業務 所得証明、課税証明、非課税証明、事業証明 (法人のみ)、納税証明
 所員 新岡百子、成田マサエ
 原田和幸、山口彰規

お詫びと訂正

6月15日号の業務内容と職員の紹介

《福祉事務所》

次長 阿部定行が記入漏れでした。

生活系の業務内容で、「特別児童手当の支給」が「特別児童手当の申請の受理」、「障害者福祉手当及び」が「障害児福祉手当及び」、保護系の業務内容で「戦傷者特別援護」は福祉部福祉課の業務でした。

ウォーキングの集い

6月17日、車力地区でウォーキングの集いが行われ、24名が参加しました。

講師として青森県ウォーキング協会所属の中嶋與志久氏がウォーキングの効果や正しい歩き方など指導し、その後車力町から豊富町まで約4kmを楽しく歩きました。

参加者たちは日頃の運動不足の解消になったと快い汗をかいていました。

このウォーキングの集いは「いきいきウォーキング」プログラムとして、年に6回行われ、10月には板柳ウォークに参加するなど、さまざまなイベントが行われる予定になっています。

問い合わせ 車力支所民生福祉課 電話 56-2111



マイペースで歩く参加者

◆今後の日程

回数	日時	内 容	時 間	集 合 場 所
2	7月22日(金)	例会 みんなで歩こう 1	13:30 受付 体操 14:15 ウォーキング(40分)	勤労者体育センター
3	8月29日(月)	例会 みんなで歩こう 2	13:30 受付 体操 14:15 ウォーキング(60分)	車力ふれあい会館
4	9月18日(日)	例会 みんなで歩こう 3 (ウォーキングINしゃりき参加予定)	詳細は後日ご案内致します 8:00~17:00	車力ふれあい会館
5	10月16日(日)	例会 みんなで歩こう 4 (板柳ウォーク参加予定)	詳細は後日ご案内致します 8:00~17:00	つがる市車力支所前集合し、福祉バスで現地へ
6	11月22日(火)	例会 みんなで歩こう 5 総まとめ・ウォーキングの実践・アンケート	13:30 受付 体操 14:15 ウォーキング(60分)	車力ふれあい会館

健康推進課だより

食中毒の発生を防止しましょう

夏は食中毒が多発する季節ですが、特に腸炎ビブリオによる食中毒は六月頃から発生し、七月～八月にかけて猛威をふるいます。

腸炎ビブリオの特徴を知って、食中毒防止のためのチェックをしてみよう

【腸炎ビブリオの特徴】

- ① 海水中に生息し、水揚げされた生の魚、貝、イカなどの魚介類に付着している
- ② 長時間の室温放置など不衛生な取り扱いを受けると他の菌の倍以上のスピードで増殖する
- ③ 低温（冷蔵庫内）に弱い
- ④ 真水（水道水）に弱い

チェック1 食品の購入

- ・表示を確認して買いましょう。生で食べる魚介類には「生食用」「刺身用」「そのまま召し上がれます」などの表示がされています。

- ・魚介類は最後に買い、寄り道などせずに帰宅しましょう。また、お店で水を入れてもらうなど、食品をなるべく冷やすよう心掛けましょう。

チェック2 家庭での保存

- ・魚介類を持ち帰ったら、すぐ

に冷蔵庫、冷凍庫にいれましょう。

- ・魚介類は汁などが漏れないように密閉容器などにいれましょう。

チェック3 調理

- ・魚介類を調理する時は、できるだけ魚専用の包丁、まな板などを使用するようにし、同時に他の食品を調理しないようにしましょう。
- ・魚介類は水道水の流水で十分に洗浄しましょう。
- ・まな板などは洗浄した後、さらに熱湯で消毒しましょう。

チェック4 食事

- ・調理後の食品はすぐ食べましょう。特に、刺身などは冷蔵庫から出してから2時間以内に食べましょう。
- ・刺身や寿司が入った仕出し料理を頼んだら、すぐ食べるようにしましょう。
- ・法事などで出された料理、特に刺身などは絶対に持ち帰らないようにしてください。

県内における食中毒発生状況

（ ）は腸炎ビブリオ発生件数

- 平成十二年：二十件 患者数 百五十八人(六件、二十六人)
- 平成十三年：十三件 患者数 百九十一人(六件、六十七人)
- 平成十四年：十一件 患者数 百三十一人(四件、三十三人)
- 平成十五年：十四件 患者数

二百人(二件、十八人)
平成十六年：二十一件 患者数 百八十人(五件、三十三人)

どんな症状が出る？

潜伏期間は、十～二十四時間位で、急性胃腸炎(激しい腹痛、吐き気・嘔吐、発熱、水溶性の下痢など)を起こす。ひどくなると粘液便や血便を起こすこともある。

食中毒に感染したと思ったら：

- ・素人判断で市販薬を飲まない
- ・すぐに医師に診てもらおう(便や、原因と思われる食品があれば持参する)。

- ・吐いたものや便には直接触れない(触れたら逆性石鹼か七十%アルコールで消毒する)。
- ・吐いたものや便で汚れた衣類は他のものとわけて洗濯する。
- ・煮沸か薬剤消毒をした後、天日乾燥する。

- ・下痢をしている人の入浴はシャワーのみにするか、一番最後に入る。
- ・乳幼児との入浴は控える。

腸炎ビブリオによる食中毒発生を防止するため、防止対策の徹底が図れるようお願いします。

☆問い合わせ

健康推進課 内線 二四四

つがる市登山囃子保存会が発足

7月3日、つがる市登山囃子保存会設立総会が行われ、西郡登山囃子保存会と木造町登山囃子保存会が合併し、つがる市登山囃子保存会が誕生しました。

総会では約40人の会員が集まり「イベント等に積極的に参加して地域を活性化していきましょう」と誓い、登山囃子と下山囃子を演奏して会員の交流を図りました。



春のバラと絵画展

6月16日、17日の2日間、木造中央公民館で「春のバラと絵画展」が行われました。

これはつがるバラ愛好会と絵画サークルの木造チャーチル会が毎年開催しているもので、バラの切り花約300点と、絵画27点が展示されました。

会場に訪れた人たちは、赤やピンク、黄色などの色鮮やかなバラにうっとりしていました。



水源地をきれいに

6月25日、津軽広域水道企業団西北事業部と同事業部工事安全協議会、西北地方農林水産事務所の職員ら50名が、小戸六ダム堤防のゴミ拾いを行いました。

会員らは、安全できれいな水を守り、こちらからもおいしい水を提供していきたいと話していました。



花植えの奉仕活動

6月25日、五所川原農林高等学校同窓会車力支部がゆうあいの里にブルーサルビアの鉢、300鉢を植栽しました。

同支部では、この時期に花植えの奉仕活動をしており、今年で3年目となります。当日は環境美化に努めようと同窓会員とその家族約20名が参加しました。



知事がリンゴ農家を激励

6月15日、三村知事が森田町の七戸久嗣さんのリンゴ農園を視察しました。

リンゴの摘果（実すぐり）作業が進む中、知事も実際に体験し、「良品生産のためがんばってください」と激励しました。



ロード花壇植え付け

7月1日、柏地区の住民たちが、県道154号線（妙堂崎五所川原線）沿い約3kmにマリーゴールド鉢、6,500鉢を植えました。

この作業は、毎年行われており、これから夏にむけて開花すると、沿道がオレンジにいろどられ、通行するドライバーに安らぎを与え喜ばれています。

おやこ花フェスタ

6月11日、ひなた児童館前広場でおやこ花フェスタが行われました。

向陽地区子ども会育成会連絡協議会では、財団法人自治総合センターの緑化推進コミュニティ助成を受け、花苗（約1万1千本）と木製花だんを整備しました。

この助成は同センターが宝くじ普及広報事業として、地域コミュニティ振興を目的に実施しているものです。



木造保育所園児が花束をプレゼント

6月9日、木造保育所の園児が市役所を訪れ、「お仕事ごろうさまです」と花束をプレゼントしました。

お礼に佐藤助役から園児たちにプレゼントが渡されました。

街をきれいに

6月7日、社会福祉法人健誠会「月見野園」「つがるの里」の入所者約40名が平滝沼公園とベンセ湿原の清掃活動を行いました。

行楽シーズンを迎え、観光客等に気持ちよく楽しんでもらうため行ったもので、入所者らは汗を流しながら空き缶を拾っていました。



鮎のそ上を手助け

岩木川漁業協同組合では、岩木川を天然そ上する鮎を特別採捕し、稲垣町下繁田にある芦野頭首工から、板柳町の上流や弘前市内まで運び放流しそ上を手助けしています。

同組合の斎藤裕さんは、「一昨年は8万匹、昨年は7万匹と少なかったが、今年はもうすでに35万匹を特別採捕していることから、70万匹はそ上を助けることができる」と喜んでいました。

特別障害給付金制度

が始まりました。

あり、現在、障害基礎年金の
一級、二級相当の障害の状態にあ
る方対象となります。なお、障
害基礎年金や障害厚生年金、障
害共済年金などを受給すること
ができる方は対象となりません。

給 付 額

一級 月額五万円
二級 月額四万円

障害の程度が国民年金法の障
害等級に該当した場合、請求
した月の翌月分からの支給と
なります。

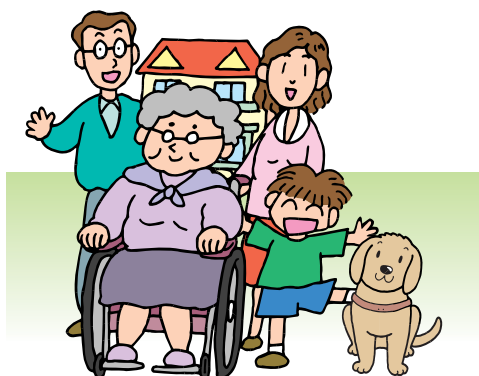
国民年金制度の任意加入対象
者で任意加入していなかったた
め、障害基礎年金等を受給する
ことができなかった次の方を対
象として、特別障害給付金制度
が創設されました。

対象となる方

平成三年三月三十一日以前の
国民年金任意加入対象者だっ
た学生

昭和六十一年三月三十一日以
前の国民年金任意加入対象者
だった厚生年金・共済組合等
の被保険者等の配偶者

これらの方で、当時、任意加
入していなかった期間内に障害
の原因となった傷病の初診日が



● 問い合わせ

弘前社会保険事務所

電話 〇一七二一七二一三〇九

市民課国民年金係

(内線二六一、二六七)

プールを開放します

場 所 木造柴田「旧柴田小学校プール」
開放期間 平成17年7月22日(金)～8月23日(火)
ただし、毎週木曜日と8月13日(土)～16日(火)
はお休みです。
開放時間 午前の部 9:30～11:30
午後の部 13:00～15:30
入 場 料 中学生以下 30円 高校生 50円 一般 80円
移動バス (スクールバス)
運 航 日 開放期間中
(毎週木曜日と8月13日(土)～16日(火)は除く) 毎日運行
運行区間 「松の館」←→「旧柴田小学校」の区間
運行時間 「松の館」発 9:00 10:00 13:00 14:00
「旧柴田小」発 10:15 11:50 14:15 15:50
そ の 他 天候、気温、水温等の状況により、開放の中止又は
時間変更をする場合があります。

問い合わせ 教育委員会 スポーツ健康課 電話49-1193

宅地等への立ち入り調査について(お願い)

固定資産税の評価替えが三年ごとに行われていますが、
平成十八年度の評価替えに向けて市内全域を対象に宅地
等の立ち入り調査を実施します。皆様方の宅地等に立ち
入ることもありますので、何卒ご協力下さるようお願い
いたします。

調査実施期間 平成十七年七月十五日～

十八年三月三十一日

調査を行う者 不動産鑑定士
立ち入り調査区域 つがる市全域

問い合わせ 市役所 税務課資産税係 内線二一

馬市まつりパレード参加者募集

馬市パレードの馬ねぶた、仮装、踊りへの参加者を募集します。

○馬市まつり期間 **9月1日(木)～4日(日)**

○馬ねぶたパレード **9月3日(土) 午後2時スタート**

※申込み締切は、7月末まで(詳細は担当課まで)

申込先・問い合わせ先/市役所 商工観光課 直通電話 42-1114 FAX 42-3069



この広報紙は再生紙を使用しています。